

日 時：2011/12/11 14：00～15：30

対 象 町 名：南浜町二丁目

総参加者数：257名（参加地権者数：175名／253名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（40分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（50分程度）

- ・被災地の買い取り価格が低いと、再建ができない。震災前の坪単価で買ってほしい。
⇒被災市町村すべてに共通する課題であり、被災前単価での買収を認めてもらえるよう、強く要望しています。
- ・高齢の方が多く、そういった方の多くは長期ローンが組めない。長期ローンが組めるようにしてほしい。
⇒ローンの査定は金融機関が行うため、そちらにご相談ください。
- ・海沿いは、防潮堤と高盛土道路がくっついている。波をかぶると道路に漂流物が散乱し、移動が困難になる。堤防と道路は離れた方が良いのではないか。また、防潮堤や道路の盛土には瓦礫を使うなどの工夫もしてほしい。
⇒道路等の詳細設計は、今後実施します。盛土の方法や詳細位置の検討などはその段階で行います。
- ・今、南浜地区はどこも更地になっている状況。その中で、八間道路を高盛土道路とする理由は何か。道路はどこに設定すれば安全なのか。現在道路があるから、そこを高盛土にするというのはおかしいのではないか。
⇒海側に7.2mの防潮堤を造るという前提の中で、シミュレーションを行い、津波が止まる位置に堤防を設定しています。八間道路と言ったのは、位置を説明するうえでの表現上の話でして、道路があるから二線堤をここに造るのではありません。
- ・なぜ公園ゾーンなのか。いろいろな人に話を聞いたが、これだけの広大な公園をほしいという人は誰もいなかった（女性：公園なんていらない！）。なぜ、他の地区と同じように、産業ゾーンではないのか。産業ゾーンにすれば、今立っている工場は継続できるのだろう。公園を整備するのも金がかかる。そんな金があるなら、被災者に配

ってほしい。また、どのような経緯で公園になったのか。以前は「とりあえずのたたき台」と言い、今回「決定」と言う。地権者の意見を聞いて決めると言っていたのに、それもなく決定している。公園ゾーンも、費用をかければ住めるようになると思う。市立病院を現在の場所としていたのも、ここを安全な場所にできるという背景があったからと思っている。それが急に移転すると言い出した。ここに住んでいる人を傷つけていることを理解してほしい。(まばらな拍手)

⇒中瀬と一体的な河川空間として、活用していきたいという考えから、公園ゾーンとなりました。そういった考えについて、市民の代表者で構成されている市民検討委員会にお諮りして、決定いたしました。

- ・地権者の意向も聞かず、決定したということか。公園にしておけば買収費用が安くなるという考えではないか？

⇒今回の復興計画で市・県・国が買収する用地が多数ありますが、買収基準がそれぞれ異なることのないように計画しています。

- ・市民の代表と言うが、誰だ。南浜からは誰が出ているのか。

⇒復興基本計画の策定に際し、29名の市民代表の方にお出でいただいています。南浜地区からは、旧南浜町会長にお出でいただいています。

⇒市民検討委員会では、今回の津波で大変な被害を受けた地域には人を住まわせないという市の方針を受け、検討をいたしました。我々も南浜のような広大な一等地をすべて公園にするのはもったいないと強く意見しましたが、座長の東北大学の教授から「南浜は地形上津波の被害を生じやすく、そのような地域に企業が来るかはわからない。企業が来るような土地に整備するためには、莫大な費用がかかる」という意見をいただき、残念ながら公園ゾーンにせざるを得ないという結論に至りました。南浜に戻ってこられるような整備が本来は望ましいのですが、地盤沈下やシミュレーションにおける津波の影響など、課題が多い地区ですので、難しいと考えました。

- ・公園であれば、子供が遊べるようなものになると思うのだが、安全対策についてどう考えているか。

⇒今後行う詳細検討の中で、津波発生時の避難対策などの検討もあわせて行う予定です。

- ・買い上げ価格の詳細は示されないということは理解したが、大体の価格は出せるだろう。50坪の被災地を売って50坪の新市街地を購入する場合はいくらくらいになるのか、幅を持たせた形でも良いので、見通しだけでも示せないか。

⇒現在蛇田と渡波の地権者と、用地買収に関する交渉を始めるところです。交渉が進めば、価格もある程度ご提示できます。12月中に交渉を終える予定ですので、その場合は1月ごろに価格をご説明できます。しかし、いかんせん交渉事ですので、交

渉が1月まで伸びる場合もあります。その場合は2月に皆様へご説明となりますのでご了承ください。また、あまり大きな幅を持たせた状態で皆様にご提示してしまうと、かえって混乱される方もいらっしゃると思いますので、価格のご提示は慎重に行いたい考えです。

- ・素人考えだが、高盛土道路の高さで水が来ないのであれば、南浜全体をその高さまで盛土すれば、安全な土地になるのでは？

⇒高盛土道路で水が止まるという検討結果ですので、高盛土道路までは水が来るということです。公園ゾーンを上げてしまいますと、日和山のふもとまで水が浸入することになり、断念しました。

- ・多重防御は亘理町などの平野部で有効な手法だと聞いた。南浜の場合、背後に日和山があるため、地形を考慮した計画にはできなかったのか。極論だが、日和山より海側はすべて公園にするとか。

⇒今次津波と同規模の津波を防ぐためには、現在の位置に高盛土道路を整備することが必要です。また、公園ゾーンは、津波時に水を受ける機能も持たせるため、必要と考えています。

- ・新聞で読んだことしか知らないのだが、新聞には「代替地」と書いてあった。今日の市の説明では「被災地を売却し、新市街地を購入」と言っていたが、どちらが正しいのか

⇒蛇田を整備し、住宅地をご用意いたします。

- ・市で用意した土地に、移転住民の土地全てが入るのか。

⇒被災前の土地は国の基準に基づいて買い上げることになるため、国の返答をお待ちいただきたいと思います。

- ・移転について要望がある。集団で移転させてほしい。等価で移転させてほしい。頑張って建てた家がなくなってしまう心情を汲んでほしい。

⇒等価は難しいと思いますが、少しでも価格差をなくすことができるよう、従前地の価格を被災前に近い価格とできるよう、国に要請しています。

- ・3年後に仮設がなくなったらどうなるか。今の南浜に住むのは怖い（拍手）

⇒仮設および借り上げ住宅の期間延長も国に要請しています。答えをいただければ、すぐに皆様にお伝えします。

- ・お金を出さずに新しい土地を手に入れたい。さっき公園なんていらないと叫んだが、公園整備に莫大なお金がかかるのであれば、それを被災者支援に振り分けてほしい。困った人のためにお金を使ってほしい。家計だったら考えられないような使い方（拍

手)

⇒切なるご意見をいただきました。無駄な使い方にならないよう、検討を行っていきます。

・公営住宅の間取りは？

⇒単身者用の1LDKや、家族用の住宅など、バリエーションを用意いたします。皆さまのニーズをお聞きし、それに合わせた住宅を供給できるようにいたします。

・今の仮設住宅と同じようなものなのか。

⇒恒久的な住宅として整備を行うため、それなりのグレードの住宅となると思います。

・理解、理解と言うが、八間道路より北側の住宅を守るために高盛土道路と防潮堤を造るのか。

⇒できるだけ住宅を残すことができるよう、第二の守りを検討した結果、この位置になりました。

・堤防は海側が高い。奥側（高盛土道路）を低くすると、住居系ゾーンに影響が出るのではないかと。逆にした方が良くはないかと。

⇒海岸堤防の7.2mは、数十年に一度起こりうる津波に対しての防御として高さが設定されました。高盛土道路は、それを越えてくる津波の影響をシミュレーションした結果として、高さを設定していたものです。

・土地の価格でみなさん悩んでいる。今住んでいる土地の代替地という扱いにすれば、等価交換と同じになるのではないかと。

⇒なるべく従前の土地と同じ面積になるようにしたいと思っています。ただし、用地の位置によっては土地の価格が変わってくることは理解していただきたい。

・市の考えだと、等価は難しい。公園整備にかかるお金を回してもらおうなど、配慮してほしい。

⇒そのような意向があったことを踏まえ、国に要望いたします。

・（旧町会長）市から方向性が示され、すべてはこれから始まる。皆さんの貴重な財産を守るために、ご自分でもしっかり考えてほしい。

（町内会の連絡事項）

何か困ったことがあれば、遠慮なく連絡してほしい。

以上